平成 19 年度 **事務事業マネジメントシート** 作成日 平成 19 年 6 月 27 日作成 点検日 平成 19 年 7 月 5 日作成

1	事務事業名	事務事業名 職員福利厚生事業			ı	マニフェスト	·関連	□ 全庁横断課題関連		
	政策名	総 合 0	4	んな元気で笑顔	 	づくり 所	属部 総務企画	ョ 部	所属課 市	長公室
	施策名	計 画 1		材政改革の推進			属係 秘書人事	事班	課長名 坂	
	基本事業名	体系5	- 効!	果的な組織運営	1	担	当者名 川口 真	奈美	電話番号 09 (内線) 12	6-248-1028
	予算科目	会計 0 1	款	項 目 事 0 1 0 1		法	令根拠 地方:	公務員法第42億		10
	事業期間 単年度のみ 単年度繰返 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ・									
	務事業の概要	具体的	的なやり	方、手順、詳細			全体像を記述)		間限定複数年度0	
福業会補対①④	(事業の内容) 福利厚生事業に係る経費に対し補助を行う (業務の内容) 会員の健康保持及び増進並びに元気回復その他厚生に関する経費に対し以下の補助率で補助を行う (業務の内容) 会員の健康保持及び増進並びに元気回復その他厚生に関する経費に対し以下の補助率で補助を行う 【補助率】 対象経費総額の2分の1の額と、会員のうち市職員数に1,000円を乗じて得た額とを比較して、少ない方の額 ①事業計画承認申請の受理②補助金内示③補助金交付申請の受理 ④補助金の交付の決定⑤補助金の請求⑥実績報告の受理 (予算の内訳) 【款】2総務費 【項】1総務管理費 【目】1一般管理費 【節】19補助金 「正規職員従事人数 延べ業務時間 費 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A) + (B) 0									
	現状把握の部		≤ ==							
① 18 職活 19 職 ② 職	(1) 事務事業の目的と指標 ① 手段(主な活動) 18年度実績(18年度に行った主な活動) 職員互助会への補助金 255,990円 活動内容ミニバレーボール大会 参加者250人 19年度計画(19年度に計画している主な活動) 職員互助会への(健康増進費用)補助 ② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等職員 ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 職員互助会が行う健康保持及び増進等活動に参加する。 ④ 結果(どんな結果に結び付けるのか) ④ 結果(どんな結果に結び付けるのか) ② 急をとう変えるのか) 職員互助会が行う健康保持及び増進等活動に参加する。									
4) 結果(どんな結	果に	結び付け	けるのか)			゚゙ゥ	上指標(結果の達成原 タガロ	を表す指標)数字	は記入しない
④ 計i) 結果(どんな紀 画を達成するため	集に の効果	結び付け 具的な組織	けるのか) 截となっている。			, ウ ⑧上位成果 ア 効果的な イ	見指標(結果の達成原 名称 よ組織と思う職員		
計) 結果(どんな紀 画を達成するため) 総事業費・指	の効果	見的な組織	載となっている。			, ウ ⑧上位成果 ア 効果的な ナ ウ	名称 ¢組織と思う職員	色の割合	単位 %
計	画を達成するため	の効果	見的な組織	職となっている。 16年度	17年度 (実績)	18年度	, ウ	名称 は組織と思う職員	の割合 21年度	単位 %
計	画を達成するため) 総事業費・指植	の効果 票等の 出金	推移 単位 千円	載となっている。	17年度 (実績)		, ウ ⑧上位成果 ア 効果的な ナ ウ	名称 ¢組織と思う職員	色の割合	単位 %
計	画を達成するため 総事業費・指植 財 国庫支 事源 編輯展覧	の効果 票等の 出金 _{支出金}	推移 単位 千円 千円	職となっている。 16年度		18年度	, ウ	名称 は組織と思う職員	の割合 21年度	単位 %
(2)	画を達成するため 総事業費・指植	の効果 票等の 出金 も しま しま しま しま しま しま しま しま しま しま しま しま しま	推移 単位 千円 千円 千円	職となっている。 16年度		18年度 (実績) 201	, ウ	名称 c組織と思う職員 20年度 (目標) 250	21年度 (目標) 2:	単位 % 22 年度 (最終目標) 50 250
(2)	画を達成するため 総事業費・指植	の効果 票等の 出金 情他 オ源	推移 単位 千円 千円 千円 千円	載となっている。 16年度 (実績)	(実績)	18年度 (実績) 201 55	, ウ ®上位成果 ア 効果的な イ ウ 19年度 (見込)	名称 c組織と思う職員 20年度 (目標) 250 250 85	21年度 (目標) 21 21 21 21 21	単位 % 22 年度 (最終目標) 50 250 85
(2)	画を達成するため 総事業費・指植	m (A) また (A) ま	推移 単位 千円 千円 千円 千円 千円	職となっている。 16年度		18年度 (実績) 201 55 256	, ウ ⑧上位成果 ア 効果的な ウ 19年度 (見込) 250 85 335 1	名称 ・組織と思う職員 20年度 (目標) 250 85 335 1	21年度 (目標) 2: 3:	単位 % 22 年度 (最終目標) 50 250 85 85 335 1 1
(2)	画を達成するため ・ 本書 ・ 指 ・ お まで、	票等の 金 金 他 が (A) 事時間	推移 単位 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	能となっている。 16年度 (実績) 0	(実績)	18年度 (実績) 201 55 256 1	, ウ ⑧上位成果 ア 効果的な イ ウ 19年度 (見込) 250 85 335 1 12	名称 c組織と思う職員 20年度 (目標) 250 85 335 1 12	21年度 (目標) 21 33	単位 % 22 年度 (最終目標) 50 250 85 85 335 335 1 1 1
(2)	画を達成するため ・ 本書 ・ 指 ・ 本道府県 ・ での	票等の 出金 世出金 (個地源) (A) 事時間 (B)	推移 単 千千円円 千千円円 千千八時間 千千円円	載となっている。 16年度 (実績)	(実績)	18年度 (実績) 201 55 256	, ウ ⑧上位成果 ア 効果的な ウ 19年度 (見込) 250 85 335 1	名称 ・組織と思う職員 20年度 (目標) 250 85 335 1	21年度 (目標) 21 21 33	単位 % 22 年度 (最終目標) 50 250 85 85 335 1 1
(2)	画を達成するため ・	票等 の ままで (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	推移 単位 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	能となっている。 16年度 (実績) 0	0 0	18年度 (実績) 201 55 256 1 12 48	、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	名称 A 組織と思う職員 20年度 (目標) 250 85 335 1 12 48	21年度 (目標) 21 21 33	単位 ※ 22 年度 (最終目標) 500 250 85 85 335 335 1 1 1 1 12 12 48 48
(2)	画を達成するため ・	票等 金 支債 他 源 (A 人間 (B) アイウア アイウア アイカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカー アーカ	推移 単 千千円円 千千円円 千千八時間 千千円円	能となっている。 16年度 (実績) 0	0 0	18年度 (実績) 201 55 256 1 12 48	、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	名称 A 組織と思う職員 20年度 (目標) 250 85 335 1 12 48	21年度 (目標) 21 22 33 33	単位 % 22 年度 (最終目標) 50 250 85 85 35 1 1 1 1 1 1 12 12 12 12 48 48 48 48 38 383
(2)	画を達成するため ・	票等 金 を を を を を (A) 間 (B) (B) (B) (C)	推移 単位 千千円 千千円 千千円 十千回 一人	能となっている。 16年度 (実績) 0	0 0	18年度 (実績) 201 55 256 1 12 48 304	・ ウ 8 上位成果 ア 効果的な ・ ク 19年度 (見込) 19年度 (見込) 250 85 335 1 12 48 383 - 1	名称 A 組織と思う職員 20年度 (目標) 250 85 335 1 12 48 383	21年度 (目標) 21 22 33 33	第 章位
(2)	画を達成するため 事業費・指格 東京県 一大	の票出当造債他源A人間りアイウアイウア・イウア・イウア・イラア・イラア・イラア・イラア・イラア・イラア・イラア・イラア・イラア・イラ	推移 単 千千円円 千千円円 千千八時間 千千円円	能となっている。 16年度 (実績) 0	0 0	18年度 (実績) 201 55 256 1 12 48 304	・ ウ 8 上位成果 ア 効果的な ・ ク 19年度 (見込) 19年度 (見込) 250 85 335 1 12 48 383 - 1	名称 A 組織と思う職員 20年度 (目標) 250 85 335 1 12 48 383	21年度 (目標) 21 21 33 33 33 33 34 35	第 章位
(2)	画を達成するため ・	原 第 第 金 金 金 金 金 金 (の の の の の の の の の の の の の	推移 単位 千千円 千千円 千千円 十千回 一人	能となっている。 16年度 (実績) 0	0 0	18年度 (実績) 201 55 256 1 12 48 304 1	、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	名称 A 20年度 (目標) 250 85 335 1 12 48 383 1	21年度 (目標) 21 21 33 33 33 33 34 35	単位 % 22 年度 (最終目標) 50 250 85 85 35 335 1 1 1 12 12 48 48 83 383 1 1 1 1330 325
(2)	画を達成するため 事業費・指格 東京県 一大	票 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	推移 単位 千千円 千千円 千千円 十千回 一人	能となっている。 16年度 (実績) 0	0 0	18年度 (実績) 201 55 256 1 12 48 304 1	、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	名称 A 20年度 (目標) 250 85 335 1 12 48 383 1	21年度 (目標) 21 21 33 33 33 33 34 35	単位 % 22 年度 (最終目標) 50 250 85 85 35 335 1 1 1 12 12 48 48 83 383 1 1 1 1 1 1 2 12

合志市

事務事業名	職員福利厚生事業	所属部	総務企画部	所属課	市長公室
-------	----------	-----	-------	-----	------

1) 事務事業の環境変化・住民意見 この事務事業を開始したきっか! 員の福利厚生を目的として開始された	ナは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
2	事務事業を取り巻く状況(対象者	fや根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
互.	助会活動のどの程度を福利厚生とする	ろかが明確ではないため、検討していく必要がある。
		主民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? た事例があり、国や県からの照会がある。
2	 評価の部(SFF)*原則は事後詞	平価、ただし複数年度事業は途中評価
	①政策体系との整合性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映☑ 結びついている ⇒【理由】 →
目的妥当性評価	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	職員互助会が行う健康保持及び増進等活動の補助を行うことにより、計画を達成するための効果的な組織となっている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければ	 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 妥当である ⇒【理由】 ⇒ 職員の福利厚生を行う必要がある。
	ならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 □ 適切である ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 対象 音図とも現状で適切である
	限定・拡充すべきか?	AT SACT TO SUPPLY CARE SACTORS
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?	✓ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映□ 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒参加率を高める。
	成果の現状水準とあるべき水準と の差異はないか?何が原因で成果 向上が期待できないのか?	
有効	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影	 影響無 ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 影響有 ⇒【その内容】 ⇒ 雇用者として行わなければならない福利厚生が出来なくなる。
双性評価	響の有無とその内容は?	/正川日ことで11425の174であるとなり、1847年上が日本である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	□ 他に手段がある • (具体的な手段,事務事業)
	目的を達成するには、この事務事業 以外他に方法はないか?類似事業 との統廃合ができるか?類似事業と の連携を図ることにより、成果の向 上が期待できるか?	IECCARD) STAN MY 0
効率性評価	⑦事業費の削減余地	 ✓ 他に手段がない ⇒【理由】 → 削減余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ✓ 削減余地がない ⇒【理由】
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	金額的にも現状では適正と見られる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削	 □ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ■ 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒ 最低限の人件費を用いているため、削減の余地無し。
	減できないか?成果を下げずにより 正職員以外の職員や委託でできな いか?(アウトソーシングなど)	
公平	⑨ 受益機会・費用負担の適正 化余地	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ■ 公平・公正である ⇒【理由】 → □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
性評価	事業の内容が一部の受益者に偏っ ていて不公平ではないか?受益者 負担が公平・公正になっているか?	福利厚生事業に対して公正に助成されている。

事務事業名	職員福利厚生事業		所属部	総務企画部	所属課	市長公室
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点)						
① 目的妥当性						
 ② 有効性	□ 適切	✓ 見直し余地あり	,			
 ③ 効率性	☑ 適切	□ 見直し余地あり	· 🕈			
4 公平性	☑適切	□ 見直し余地あり				
廃止 休止事業のやり方改善(現状維持(従来通り開催時期や内容を工		事業統廃合・連携 のやり方改善(公平性)	改善)	からが (有効性改		4) 改革・改善による期待成果 R止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 点 成維 民 世 成 株 大 大 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
記述不足で 一部記述不 記述は十分 ②評価の客観性2 「客観性を欠 一部に客観 客観的な評	解性と出来具合評価の記述内容を読んがわかりにくい。 足のところがあるなされている は、2次評価を行った後いており評価が偏ってい。 性を欠いたところがある。	後に総合的に判断して いる(事務事業の問題	点、課題 認識され	ている)		
(2) 2次評価者として(の評価結果		(3)評価結果の根拠とヨ	里由	
① 目的妥当性	□ 適切	□ 見直し余地あり	'			
② 有効性	□ 適切	□ 見直し余地あり	'			
③ 効率性	□ 適切	□ 見直し余地あり				
④ 公平性	□ 適切	□ 見直し余地あり	'			
廃止□ 休止□ 事業のやり方改善(□ 現状維持(従来通り	効率性改善)			からが (有効性改		5) 改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 成維 果 低 下 × × ×
(6) その他2次評価会	議で指摘された事項					